

## 平成28年度酒々井町教育委員会10月定例会議 議事録

開催日 平成28年10月28日(金)

開催場所 役場西庁舎2階第1会議室

出席委員	教 育 長	木村 俊幸	教育長職務代理者	浦壁 京子
	委 員	石井 國治	委 員	村重 浩二
	委 員	林 洋子		

出席職員	教 育 次 長			
	生涯学習課長兼務	木内 達彦	こども課長	七夕 夕美子
	学校教育課長	猪鼻 慎二	給食センター所長	木村 修一
	プレミアム酒々井館長	小川 公一	こども課副主幹	伊藤 雄三
	こども課主事(書記)	渡邊 しほ		

1 開会時刻 14:05

2 議事録署名委員の指名

3 議 題

(1) 報 告 (公 開)

報告第1号 行政報告について

報告第2号 平成28年度9月補正予算及び10月補正予算の議決について

報告第3号 酒々井町中央公民館耐震補強工事の入札結果及び使用料の免除について

4 次回会議の予定 11月22日(火) 午後2時 西庁舎2階第1会議室

5 教育長・教育委員の予定

6 その他

7 閉会時刻 16:00

# 議 事 録

---

## 1 開会の言葉

木村教育長

ただ今より、平成28年度酒々井町教育委員会10月定例会議を開会いたします。

---

## 2 議事録署名委員の指名

木村教育長

議事録署名委員の指名を行います。村重委員にお願いします。

---

## 3 議 題

木村教育長

本日、中央公民館長でございますが、都合により欠席でございますのであらかじめご了承ください。

これから議事に入ります。本日の議題は報告が2件としておりましたが、中央公民館より報告案件の追加申し出がございましたので、委員会にお諮りいたします。

報告第3号として「酒々井町中央公民館耐震補強工事の入札結果及び使用料の免除について」を議題に追加したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議ありませんので、報告第3号「酒々井町中央公民館耐震補強工事の入札結果及び使用料の免除について」を議題に追加することに決定いたしました。

ただいまの追加報告も含めて、本日の議題に、非公開とすべき案件はございません。

したがって、本日の議題はすべて公開案件といたしますので、あらかじめご了承ください。

それでは、はじめに報告第1号「行政報告について」を議題といたします。

はじめに私から4点ご報告いたします。

1点目は、10月1日に行われました第32回酒々井町長杯少年野球大会についてですが、町内外から16チームが参加し、当町からは2チームが参加しました。あいにくの雨模様の中の開会式、そして試合となりましたが、子どもたちは元気よく入場行進したり試合に臨んでいました。当町からは酒々井ビッグアローズ、酒々井ジャガーズの2チームが参加しました。選手宣誓はビッグアローズの圖師海来翔君、大室台小学校6年生が元気よく、立派に宣誓してくれました。

2点目は、5日行われました印旛郡市中学校駅伝について報告いたします。69回目となる本年は男子は45校60チーム、女子は38校47チームが参加しておりました。酒々井中は男子が2チーム、女子が1チーム参加し、すべての生徒が全

力を出し切って頑張ってくれました。成績は、はじめに行われた女子が20位でしたが、男子は10位に入賞することができました。印旛地区で10位以内に入るとはかなり厳しいことなので、本当にうれしいことで、来年は県大会に出られる4位以内を目指してさらに精進してほしいと思っております。

3点目といたしまして、6日に行われました北総教育事務所所長訪問、次長訪問について報告いたします。これは当委員会が所長さん、次長さん、関係所員の先生方を招聘して町内の学校の管理運営について指導していただくものです。午前中は次長さんたちに酒々井小を、午後は所長さんたちに大室台小を訪問していただき、それぞれ授業を参観していただいたり、諸表簿を見ていただくなど、多くのご指導、ご助言をいただきました。どちらの学校も改善等の指摘事項はなく、高い評価をいただきましたが、県内で不祥事が続いていることや様々な教育課題が山積していることから、今後も引き締めて教育活動に当たる旨のお話がありました。

4点目は、8日（土）に行われたオータムコンサートについて報告いたします。今年で16回目となりますが、年々参観希望者が増え、今回は抽選となりました。その結果、196名が当選し、27名が外れる状況となりました。漏れた方用にハワイエにモニタテレビを用意し視聴していただきました。これまで出来るだけ多くの皆様に鑑賞していただけるよう、出演する児童生徒の保護者には、演奏するため空席となる児童生徒席に座っていただくなどの工夫をして参りました。より多くの参観希望が叶えられるよう、かなり厳しいのですが努力して参りたいと思っております。

5点目は、12日に富里中央公民館で行われた印旛郡市特別支援教育振興大会についてですが、これは印旛地区内の市町が会場を持ち回りで行われているもので、各市町の首長、国会議員、県会議員等々大変多くの来賓が出席され、本年も盛大に開催されました。しかしながら、参加児童生徒数の増加、会場や駐車場の確保、子どもたちの負担などの問題から印旛全体で行うことは厳しくなったということで、来年度からは地区別開催ということで検討しているということでした。おそらく来年は酒々井町は佐倉市と合同で開催することになるのではないかと思います。

6点目は、19日に開催した子ども模擬議会についてですが、昨年までは中学生による中学生模擬議会として開催しておりましたが、昨年終了直後に小学生の参加を申し入れました。その後、参加人数や日程などを学校や議会事務局と調整し、このたびの開催となりました。小学生らしい発想や立ち居振る舞いなど期待しておりましたが、反省点もありますが、概ね期待に応えてくれたと思っております、来年も継続していきたいと考えております。

最後に、25日に行われた臨時議会について報告いたします。上程された議案は平成28年度一般会計補正予算でありまして、教育委員会関係の主なものは国際交流派遣事業の拡大に伴う事前調査にかかる経費です。予算の概要については後ほど担当課長が説明いたします。町ではこれまで毎年中学生をオーストラリアへ派遣し、国際化に対応できる人材の育成を図って参りました。教育委員会ではこれを一層推進するため検討して参りましたところ、ドイツのドルフエン市との交流に目途がつかしました。そこで、様々な情報を収集、把握するため、ドルフエン市を視察す

ることといたしました。予算に関しては議会に上程する案件であることから本来ならば議会に上程する前に教育委員会会議にお諮りするべきところでしたが、その時間がとれませんでしたので、私が代理して処理させていただきました。なお、当該補正予算は可決されたことを申し添えます。

以上で私からの報告を終わりますが、このひと月は報告申し上げましたほかにもスポレク祭、輝く創年とコミュニティ・フォーラム、教育長・教育委員研修会等々ありますが、これらの行事には委員の皆様も多く参加されておりますので、皆様のご発言をお願いいたします。

浦壁職務代理者

はい、議長

木村教育長

浦壁職務代理者

浦壁職務代理者

それでは順番に報告させていただきます。

まず、私は10月6日、北総教育事務所所長学校訪問ということで、大室台小学校の所長訪問に教育委員として伺ってまいりました。私どもは5・6校時にかけて参観、全部の教室を回らせていただきました。教育委員としては、学校の環境、教育機器の活用、児童の雰囲気についての観点から見たいと考え、全教室を回らせていただきました。

感想ですが、学校内は非常に清潔だという印象を受けました。とても暑い夏日でしたが、エアコンが有効活用されていて、児童も勉強に集中できると感じました。そして、児童の姿勢や鉛筆の持ち方の掲示が各教室にあり、教育委員会で各学校にお願いしていたものが具体的に活用されているなど感じました。また、空き教室を利用した図書館展示が独特で、子どものニーズに合った展示があり、借りる子どもが多いという司書の方のお話があり、大変嬉しく思いました。教育機器に関しては、電子黒板が大きくて、持ち運びが大変ということなので、頻繁な活用は難しいのではないかなという様子でした。案内役の校長先生は、教室に入ると、その先生の校務分掌や年齢や学校での任務年数等を参観の材料としてコメントしてくださり、行き届いた管理者の姿勢を見せていただきました。訪問の最後には、私たちだけで特別棟2階にある大ちゃん学童クラブの様子を見させていただきました。関係職員からは、高学年になると利用がほとんどなくなりますが、それでも52人の放課後の子ども達を預かっているというお話がありました。ちょうどおやつ時間で、クッキーなどを食べていましたけれども、その中で、宿題をしたりゲームをしたり読書をしたりという子育て支援の一環を見せていただきました。安心して子どもを預け、働く親の支援になるのだと改めて思いました。学校を後にするときに、習字の先生と用務員のお二人に「大変でしたね」と労いの言葉を伝えたところ、「先生方が一番大変でした」ということで、学校の雰囲気の良さを感じて帰ってきました。以上です。

石井委員

はい、議長

木村教育長

石井委員

石井委員

私は、オータムコンサートについて感想を述べさせていただきます。

今回初めて出席させていただきました。ある程度混雑すると聞いていたのですが、満席以上の状態になっていることを初めて知りました。村重委員からは、立見席になることもあるそうだと聞きました。今回、私、浦壁委員、林委員に特別にお席を設けていただき、ありがとうございました。

内容は、大室台小の音楽部、酒々井小の器楽部、酒々井中、そして東京学館高校の吹奏楽部、各校の生徒による演奏会でした。会場は、生徒の保護者をはじめ、町関係者もたくさん来場されていました。

大室台小、酒々井小両校の演奏者は50人から60人と広いステージいっぱい、みんな真剣かつ、楽しんで演奏している姿に感動させられました。また、3年生が退部し、1、2年生で演奏された酒々井中、東京学館高校のパフォーマンスも含め、日頃の練習成果を発揮し、楽しませてくれました。今後の更なる技術向上に期待いたします。

全体的に聞き覚えのある曲ばかりで楽しめました。来年のオータムコンサートを今から楽しみにしています。以上です。

村重委員

はい、議長

木村教育長

村重委員

村重委員

10月9日(日)に行われた、第11回酒々井町スポーツレクリエーション祭について報告させていただきます。

当日はあいにくの天気で、グラウンドゴルフとディスクゴルフが中止となりました。室内競技は予定どおり開催となりました。

酒々井中学校体育館1階では綱引きが熱戦を繰り広げていました。2階のフロアでは体力づくりコーナーと順天堂大学の方たちがモードチェックをしておりました。私もひととおり測定させていただき、測定後には准教授からアドバイスをいただきました。

酒々井小では近隣市町村チームとのインディアカの練習試合が開催されていました。今年もわずかな時間ですが、ミニゲームをさせていただきました。

場所を移して、大室台小学校では、ソフトバレーボール大会が開催されていました。こちらでもミニゲームをさせていただきました。日頃から練習しているママさんたちには敵いませんでした。

スポレクには直接関係ない話ですが、大室台小学校の体育館は酒々井中や酒々井小学校に比べて、薄暗い印象を受けました。照度を測定し、不足しているのであれば来年度以降、LED照明の増設をしていただくと良いかと思われます。

最後に、実行委員の方々のご尽力により参加者が怪我なく町民相互の親睦が図れ

たことに感謝申し上げます。

浦壁職務代理者

はい、議長

木村教育長

浦壁職務代理者

浦壁職務代理者

続いて、10月19日のこども模擬議会について報告いたします。先ほど、教育長からお話がありましたが、今年は初めての小学生の参加となりました。小中学生合わせて16人で議長を含め、議会が構成されていました。実際の町議会議場で行われましたが、議題は、町おこし、税金、災害、福祉、アウトレットなど、町のキーワードがずらりと並んで挙がってきていました。リハーサルは大変だったと想像しますが、児童生徒たちの姿勢がはきはき、きびきびしていて、とても好ましく思いました。町のことを真剣に考えていると、大変嬉しい気持ちになった次第です。

今回は、保護者や議員の方も去年よりだいぶ多く出席されていましたが、もっと多くの出席者があれば、さらに児童生徒たちは張り合いがあるのではないかなと感じました。傍聴していて思ったことは、質問に対して3分の2くらいが町長の答弁であり、責任感で町長がすべてお答えしたのかもしれませんが、もう少し担当している方に割り振ってもいいのではないかと思います。

また、欲を言えば、こども模擬議会ということに特化して、説明はもう少し易しくしたり、あるいは、「こんなことにも関係します」「本当の議会ではこうだけでも、こんな風に考えてもらえればいいです」というようなフォローがあるといいなと思いました。町長からは、人口減少の問題やアウトレットの年間利用者数、100年安心して住める町のことなど、今私たちが耳にしていることの答弁があり、改めて確認することができました。最後に議長の岡島君からお礼の言葉とともに、生まれ育った町の未来のために頑張る、という宣言がありまして、大変ありがたかったです。

今回の経験が議員誕生に繋がればいいなと心密かに思っておりました。

もう1点、林委員も同じように感じたということでしたのでお話しさせていただきましたが、小学生が体操服で議場に上がっておりまして、例えば、議場という場に臨む姿勢を表す服装はどういうものかと、事前に指導があるともう少し格調高い議会になるのかなと思います。以上です。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

私は10月23日日曜日に開催された、輝く創年とコミュニティ・フォーラムについて報告させていただきます。委員4人で参加させていただきました。午前中は4つの分科会が設けられ、人と人を結びつける地域の活動の実践について話し合われましたが、私たちは午後から参加させていただきました。オープニングで酒々井

中学校の演奏を聞かせていただきました。これはオータムコンサートとは少し雰囲気が変わりまして、子ども達が人数的に少なかったのですが、挨拶や曲紹介など子ども達が活躍する場というのが随所にあり、多くの参加者に酒々井の良い部分を見ていただいたと思います。また、演奏だけではなく、子ども達そのものを見ていただいたので大変よかったなと思いました。

そのあと、基調鼎談がありました。鼎談という言葉が初めてだったので、どんなふうになるのかなと思ったのですが、結果的には、3人が向かい合って話をするのでした。山本学さんと三ツ木清隆さんと福留強先生の3人がそれぞれの生き方について話をしてくださいました。とくに、学さんの詩の朗読は、マイクを使わないで会場いっぱい張りのある声で、しかも感情のこもった詩を朗読していただいたということで大変魅力的でした。

そのあと、シンポジウムということで、コーディネーターを含めて5人の方々が地域の子ども、創年をテーマにディスカッションを行いました。印象的だったのは、子どものすべての土台は家庭にあるという言葉でした。家庭と地域、学校教育、社会教育がそれぞれの立場で繋がって、そして、今を輝いていけたら最高だなということを感じました。以上です。

石井委員

はい、議長

木村教育長

石井委員

石井委員

私からは、24日に行われました、千教連教育長・教育委員研修会について報告させていただきます。

10月24日、県内の教育長と教育委員が一堂に会しまして、教育委員の果たす役割を考える研修会とすることを目的とした、千葉県教育委員会第1回研修会に委員全員で出席しました。

はじめに、全体会では、新しい教育委員会制度の取り組みにおける現状と課題について、教育委員会の果たす役割を考えることをテーマとしまして、富津市、東金市、白子町、多古町の新教育長によるディスカッションが行われました。地域に貢献できる学校教育を推進するためにも、すべての教育委員会が協力しあって、教育行政の充実、活性化に向けて進んでいくことが重要なことと結論付けられたと思います。

午後はテーマごとに3分科会に分かれ、私は村重委員と「地域に開かれた学校づくり」をテーマとした第1分科会に出席しました。初めに、県教育庁担当課の方より「みんなで取り組む教育立県千葉プラン」ということについて説明がありました。地域住民の絆を深め、支えあって地域コミュニティを形成し、地域とともに歩む学校づくりを推進するとの説明がありました。実践発表では、白子町、茂原市の学校教育課指導主事の発表がありました。研修会で配付されました資料を見ますと、酒々井町においても、各団体により実践されていることなんだなと感じました。今回の研修会では、他市町の資料で参考になるものをいただきましたので、これから

行われる総合教育会議にも活用したいと思います。以上です。

村重委員

はい、議長

木村教育長

村重委員

村重委員

私は10月24日の月曜日に開催されました、千葉県市町村教育委員会連絡協議会の研修会の感想を述べさせていただきます。

午前中のパネルディスカッションは、「新しい教育委員会の取り組みにおける現状と課題について」サブタイトルが「教育委員会の役割を考える」がテーマで、教育長以下全員で参加しました。午後は3つの分科会に分かれ、私と石井委員は、第1分科会に出席しました。テーマが「開かれた学校づくりについて」でした。

前半が県教育庁の施策の説明で、後半が白子町教育委員会と茂原市教育委員会の取り組み事例の発表を視聴しました。

第1分科会は県が推進する三大プロジェクトの2と3に関連する内容でした。ちなみに、プロジェクト1のキャッチコピーは「志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる」プロジェクト3のキャッチコピーは「教育の原点としての家庭の力を高める、力を繋げる」プロジェクト2のキャッチコピーは「千葉県のポテンシャルを生かした教育立県の土台作り」です。その中でも施策ナンバー6は「人間形成の場としての活力ある学校づくり」がテーマで、その行政説明を受けました。具体的には、教育に開かれた魅力ある学校づくりとして、県では4つの重点的な取り組みを推進しています。その一つに、学校、家庭、地域連携協力推進事業があり、中でも酒々井町が今年度取り入れた地域未来塾があります。県下でまだ2市1町しか導入されていないそうです。改めて我が酒々井町は、質の高い教育を提供していると実感しました。この事業を未来ある酒々井の子ども達のために来年度以降も継続をしていただきたいと思います。行政説明のあとは、白子町の取り組みでした。大半は酒々井町と同様の事業があって、1つだけ気になったのが、少々連携という取り組みです。酒々井町において少々連携というものが現在行われているのか、今後どのようなものが考えられるか気になりました。茂原市の取り組みも課題として、我が町にも当てはまったボランティアの高齢化で後継者を育成しなければならないということです。第1分科会を通して得たのは、子どもの健全育成のためには、学校と地域が持っている教育は、互いに補完し合うことが今後も求められている、ということです。以上を持ちまして、千葉県市町村教育委員会連絡協議会の研修会第1分科会の報告を終わります。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

私もお二方と同じ研修会に参加して参りました。重なりますので、私は分科会の



報告をさせていただきます。私は第2分科会で学力学習状況調査を活用した学力向上についてと、いう内容のところに参加させていただきました。千葉県としては、多少の凸や凹はあるのだけれども、平均点では、国と同程度ということでした。考えてみますと、平均点という子はいませんので、一人ひとりの子どもの力を分析して、その分析をする教師の力が大切ということで、できる子もできない子もその子のニーズに応えられるような授業を展開していくというのが、最終的には学力向上に繋がっていくのではないかと考えさせられました。学力向上を目指してということで、佐倉市教育委員会からの提案がありまして、いくつか推進事業という形でしているのですが、その中に向学チャレンジというような取組をされておりました。酒々井町でもこども青樹堂や中学生に対する未来塾を推進してくださっているわけですが、他の教育委員会以上のことを先駆けて酒々井もやっているなということで、酒々井町の取り組みは大きく評価されてもいいのではないかと感じました。この後は、一人ひとりの学力向上に向けて、教職員が分析をして、子ども達のニーズに合った、わかる授業の展開というのが求められるのではないかと感じました。以上です。

木村教育長

千教連の研修会は、それぞれ分科会に分かれて出席していますが、付け加えて、私からも述べさせていただきます。

私は第3分科会の「新教育委員会制度による首長との連携分科会」という分科会に出席したのですが、ここで議論された内容はいろいろございましたけれども、その中で千葉県も教育に関する大綱を策定しております。その策定に関して質問しました。大綱には教育全般のこと、つまり学校教育、生涯学習、社会教育、スポーツ、文化、そういったことまで網羅されていなければならないのであろう、そういうことまで含めて掲げなければならないのかなという考えを持っていましたので、ところが県の大綱には「千葉の子どもたちの未来のために」という形でサブタイトルがあって、中を見ると子ども達の教育に関すること、学校教育とは言いませんが、そういう視点からの記述しかありません。県が最初に説明をしたので、「県はどのようにお考えですか」と職員に聞いたら、これという回答はありませんでした。「こういうことをやって、子ども達のためになることをやるので、そういうことを通して生涯学習を考えております。」と言うのですが、他の教育長、教育委員参加者の中からも疑問の声が上がりました。誰が見ても生涯学習、社会教育、スポーツ、文化に触れていないな、ということは明らかなのですが、阿吽の呼吸と申しますか、それ以上は県に追求することはいたしませんでした。私からしてみれば、それがいけないとかではなく、大綱にはどこまで盛り込んだらいいのかという考えがありましたものですから、学校教育からの視点の記述しかなかったのが、疑問に思っただけです。明快な回答が得られなかったと自分自身受け止めていまして、残念だなと思った次第です。以上、千教連研修会の報告でございました。

続きまして、事務局から報告いたします。

はじめに、教育次長より報告をお願いいたします。

木内教育次長

はい、議長  
木村教育長  
教育次長  
木内教育次長

(報 告)

木村教育長  
続いて、こども課から順に報告願います。

七夕こども課長  
はい、議長  
木村教育長  
こども課長  
七夕こども課長

(報 告)

猪鼻学校教育課長  
はい、議長  
木村教育長  
学校教育課長  
猪鼻学校教育課長

(報 告)

木内生涯学習課長  
はい、議長  
木村教育長  
生涯学習課長  
木内生涯学習課長

(報 告)

木村給食センター所長  
はい、議長  
木村教育長  
給食センター所長  
木村給食センター所長

(報 告)

小川プリミエール酒々井館長  
はい、議長  
木村教育長  
プリミエール酒々井館長  
小川プリミエール酒々井館長

(報 告)

木村教育長  
事務局からの報告が終わりました。  
これより質疑に入ります。ご意見、ご質問ございますか。

石井委員

はい、議長

木村教育長

石井委員

石井委員

千葉氏まつりについてご質問させていただきます。アンケートを取られていたようなのですが、アンケートの分析は終わったのでしょうか。

木内生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

木内生涯学習課長

千葉氏まつりについてのアンケートに関しては、企画財政課で取りまとめております。まだ、詳細のほうは回覧されていないので、詳細は伺っておりませんが、わかり次第ご報告させていただきます。

石井委員

はい、議長

木村教育長

石井委員

石井委員

ケーブルテレビだと思うのですが、千葉氏まつりのことが放送されており、大変詳しい内容となっております。こんなに苦労されていたんだ、と思いました。自分たちは企画から実行されるまで日にちがなく大丈夫か、という心配をしていたのですが、教育長さんはじめ、次長がインタビューを受けておられましたけれども、何回も会議を重ねて実行にこぎつけたことがわかりました。偶然その放送を見たのですが、映像を公民館で流してもいいのではないかと思います。公民館事業はたくさんの方が来られますし、千葉氏まつりに来られていない方も多と思うので、PRに良いのではないかなと思い、提案させていただきました。

木村教育長

ケーブルネット296で放映されていた映像を公民館やプリミエールで流したらいかがか、映像を流して宣伝したらいかがか、ということですね。

昔は、ケーブルテレビで取材に来て放映したものをビデオテープに録画し、小学校等に寄贈されていたのですが、今は、それはないのですか。

木内生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

木内生涯学習課長

千葉氏まつりについては、296に委託契約し、映像を作っていたいただいております。すでに保存された分があるのですが、296に要求すれば、CD等に作ってい

ただけますので、放送された分を要求したいと思います。以上です。

木村教育長

ニュースとしての放映なのではないでしょうか。酒々井町の枠が30分ありますが、その中ではないと思います。取材後、放映されるまでが、早くて1ヶ月、遅いと3ヶ月くらいだと思います。私が想定している番組でいうと、半月ぐらいの間、1日に何回か決まった時間に放映されますが、千葉氏まつりについては早くて11月だと思うので、おそらくご覧になったものは、ニュースでの放映だったのではないかと思います。

石井委員

いずれにしても、296は町民全員が加入しているわけではないので、ぜひ次長が言っていたように、先々そのような機会を検討していただきたいです。

木村教育長

他にご意見、ご質問ございませんか。

では、私からプリミエール酒々井館長にご質問いたしますが、わらべうたの会というのは、対象は大人ですか。それとも、小さい子を連れた親御さんなのですか。

小川プリミエール酒々井館長

親御さんが対象です。

木村教育長

どのような歌をやっているのですか。

小川プリミエール酒々井館長

小さい子に向けた童謡です。

木村教育長

子連れですか。

小川プリミエール酒々井館長

親子です。

木村教育長

他にご質問ございませんか。

ないようでございますので、以上で「報告第1号」を終わります。

次に報告第2号「平成28年度9月補正予算及び10月補正予算の議決について」事務局よりご報告いたします。

七夕こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

七夕こども課長

報告第2号「平成28年度9月補正予算及び10月補正予算の議決について」ご説明させていただきます。

平成28年度一般会計の9月補正予算については、9月定例町議会において原案のとおり可決されましたので報告します。

また、同10月補正予算については、酒々井町教育委員会行政組織規則第6条第

1 項の規定により臨時代理しましたので、同条第 3 項の規定により報告します。

9 月の補正予算につきましては、8 月の定例教育委員会議で、関係各課からご説明のうえ議決をいただいた内容で、9 月の町議会定例会で 9 月 27 日に原案どおり可決されたものでございます。概要につきましては、8 ページ及び 9 ページのとおりでございます。

10 月補正予算につきましては、10 月 25 日に町議会臨時会が開催されましたため、定例教育委員会議に提案させていただく時間がないまま、町議会に出させていただいた補正予算でございますので、概要は 10 ページのとおりでございますが、担当課よりご説明させていただきます。

猪鼻学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

猪鼻学校教育課長

10 月臨時議会の学校教育課に関する補正予算についてご説明いたします。

児童生徒国際交流振興事業の 146 万 7000 円ですが、ドイツのドルフェン市との国際理解教育交流事業に向けた事前調査として、4 名分の経費を計上したものです。

事業計画の発端としまして、実は町長が以前に参加しました『関東町村会海外行政視察』でドイツのドルフェン市へ立ち寄りまして、伝統ある街並み・市長の説明等が大変気に入ったようです。中でも、子ども同士の交流ができないものかと持ちかけられたことをきっかけにドルフェン市との交流を考えるに至ったようです。

このドルフェン市は、人口 1 万 4000 人ほどの小さな都市で、酒々井町とも近い規模であります。また、街の様子も歴史と伝統のある酒々井町と同様に約 1200 年という古い歴史があり、昔ながらの街並みが今も現存しているようです。将来の酒々井町を担う子どもたちにグローバルな視点を磨いてほしいということから、ドルフェン市との交流を考えました。

また、ドイツでは母国語以外として、日本人よりも英語を自由に上手に活用している人が多いことから、母国語以外の言葉を身につける必要性を実感できるだろうと想定しています。

なお、本番の実施時期は夏休みが候補の 1 つとなりますが、事前調査を行ってみて子どもたちにとって適切な時期がいつかを検討したいと考えています。

学校からも校長会からの要望として、現在実施しているオーストラリアとの交流に加えてさらに拡大してほしいという項目があがっています。ですから、再度申し上げますが、オーストラリアに代わって実施するのではなく、それとは別に付け加えて実施することになりますので、事業を拡大することになります。

木村教育長

歳出のところを見ていただくと、報償費、旅費等書いてありますし、説明のところも概要は書いてありまして、概ね理解できると思っておりますが、10 ページのところ経費、経過等含めまして、ご質問ございましたらお願いいたします。

石井委員

はい、議長

木村教育長

石井委員

石井委員

オーストラリアもドイツも交流する、こういう考え方でよろしいかと思うのですが、オーストラリアの定員を減らして、ドイツの分とするのでしょうか、何はともあれ、行きたいという方が、多くならなければならないと思うのですが、オーストラリアのことを考えると定員が足りないのではないかという心配があります。

猪鼻学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

猪鼻学校教育課長

オーストラリアの選考に関しまして、今年度も昨年度も30名以上の申し込みがあった中20名に絞っており、抽選にもれたお子さんがいるのが現状です。オーストラリアに行けなかった子が全員ドイツに行きたいかは、まだわかりませんが、国際交流という意味では、学校からも子ども達からも拡大、あるいは定員枠を増やすような要望は出ております。やはり、交流で動く人数というのは、30名、40名となると動き方に難しいものがありますので、オーストラリアの方は来年も20名で実施する予定です。ただ、ドイツの方は人数が確定しておりません。何名連れて行くか含めて視察を通して決めていきたいと思っております。また、学校に情報を流しておりませんので、まだ子ども達に希望を取ることはしておりません。以上です。

木村教育長

私からもお話をさせていただきますが、今考えているのは、これは下見の件ですが、本番のドイツ行きの時には、6泊8日を考えておりまして、オーストラリアと同じ日程なのですが、時差が相当あります。飛行機の乗り継ぎで行くので、15時間前後、オーストラリアは9時間前後かかります。学校教育課長からもお話がありましたけれども、子ども達の中に例えば、30人超の希望者がいて、その子たちがみんなオーストラリアを希望するということになると、ドイツはどうなってしまうのか、となってしまうので、希望順位を付けて取るなど、検討していただいて、できれば、両方とも実現させたいと思っております。

経費の方につきましては、保護者負担がほぼ同じくらいになるのではないかと考えております。

中身ですが、オーストラリアと同じようにホームステイをします。今のところ3泊くらいすればいいかなと思っております。それから学校体験です。ドイツの学校に入ることを考えておりますが、向こうも夏休みの時期だと思うので、学校が休みのときに入ることはできないので、下見に行った際に例年どうなのか聞きたいと思っております。例えば、サマーキャンプを行っているなら、サマーキャンプに参加させていただこうかと考えております。大人が行くには歴史と伝統というのがあるので良

いかと思いますが、中学生ですから、それだけだと寂しいところがあるので、東京ディズニーランドのシンデレラ城のモデルとなった城に、車で1時間半くらいで行けるので、そのようなところにも行ったりしたいと考えております。また、帰りは、スイスのチューリッヒを經由して帰ってくることも考えていますが、その場合は、例えばチューリッヒで市内観光をしてもいいのではないかと考えております。子ども達にとって、できるだけ楽しみになるような交流事業になるように、勉強、調査しているところでございます。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

国際交流という立場で拡大を試みているということです。実施中のオーストラリアで人数を拡大していく、という考え方もあると思います。1か所ではなくて複数の国で、総合的に見ると拡大という捉え方になるのだなと考えていました。子ども達は大変幸せで、これからは1つの国というよりは、複数の国との交流をすることによって、行った者どうしが学校に帰ってきて意見を交換し、2つの国を理解することができるので、国際理解を拡大するという意味になるのかなと思いました。もちろん、行くためには子ども達は勉強しなければならないですし、連れて行く側もたくさんの勉強をしていきながら、子ども達に歴史、文化など色々なことを教えていくと、やる気満々になるのではないかと思います。お金はかかりますが、それには代えられない素晴らしい事業になるのではないかと、また、そこに行くために小学校でも英語を学んでいくということで、第2外国語で英語をやっているということであれば、学校での授業がさらに深まっていくと思います。また、教育委員会としても、英語教育をますます充実させていく方法を考えていく、というようなこともあり、全体として国際交流が深まっていくということで、賛成したいと思いました。以上です。

浦壁職務代理者

はい、議長

木村教育長

浦壁職務代理者

浦壁職務代理者

これは事前の視察ですよね。ですから、これからの中身については、視察を受けて深めていく、そのための予算ですから、私はここでは良いかと思っています。小さな町で人口が1万4000人で歴史のある町というところが、おそらく酒々井町との共通点となりますので、できれば相互交流できるように、こちらでもホームステイできるように進めていただけたら、良い意味での国際交流に繋がると思いますので、予算はこれをお願いしたいと考えております。

木村教育長

本番を踏まえて、下見でどこに行くか、どうするかということになるので、現在、

計画をしているところでございます。

村重委員

はい、議長

木村教育長

村重委員

村重委員

国際交流拡大ということで、ドイツのドルフェンというのは良いと思います。それから、相互交流というのは考えられないでしょうか。シドニーの子が酒々井に来るのは難しいので、ドイツのドルフェンの子ども達も酒々井に来るのは可能かどうかというのを、ぜひ、検討していただきたいです。

木村教育長

私は、シドニーに昨年行かせていただいて、向こうの校長先生、教頭先生に、何とかしてできるだけ早いうちに日本に来ていただきたいということで、お話をさせていただきました。「考えておくよ」ということですが、酒々井町が派遣する場合は半額負担式ということで、親御さんが半額負担するということなのですが、向こうはそれが無理とのことなんです。ですから、正規の航空運賃を払わなければいけないとなると30万円くらいで、その辺がネックになっています。また、酒々井町と交流しているシドニーの学校は、ドイツへの派遣を毎年行っているそうです。ですから、日本に来るのは難しいと思います。東日本大震災があって、安全性を疑問視する面もあり、数年前、行きたい人を募ったら1人か2人しかいなかったのです。その時点より、「今は増えているよ」というお話だったのですが、やはり現実として、こちらに来ていただくことは難しいです。

ドルフェンにつきましては、町長の話によりますと、ドルフェン市長はぜひ子ども達と交流したいと、だから、大人はいらないけど子どもをよこしてほしいと言っているくらいですから、向こうから派遣する気はあるのではないかと思います。ただ、先立つお金が全て個人負担なのか、その辺はネックになるのではないかと考えております。私が行ったときは、相互交流ということで、ドイツのお子様にはできるだけ日本に来ていただけるようお願いしていくつもりです。以上です。

他にご意見ご質問ございませんか。

ご質問等ないようでございますので、以上で「報告第2号」を終わります。

次に、報告第3号「酒々井町中央公民館耐震補強工事の入札結果及び使用料の免除について」を議題といたします。本日配付いたしました、別冊の「追加報告」をご覧ください。それでは、事務局から説明をお願いします。

木内教育次長

はい、議長

木村教育長

教育次長

木内教育次長

報告第3号「酒々井町中央公民館耐震補強工事の入札結果及び使用料の免除について」ご説明させていただきます。



酒々井町中央公民館耐震補強工事の入札結果及び使用料の免除について、下記のとおり報告いたします。

まず、中央公民館耐震補強工事の入札結果についてですが、平成28年10月17日に2社入札し、予定価格を上回りました。翌日、再入札を行いました。やはり予定価格を上回りました。このため、2社の内、低価格の1社より随意契約をすることを前提に見積書を徴取いたしました。その1回目、10月18日ですが、予定価格を上回りました。同日付で再度、見積書の徴取をしたのですが、予定価格を上回っており、今回の入札は不調、成立せずとなりましたので、ご報告させていただきます。今後の中央公民館の耐震補強工事については、現在、講堂棟と研修棟を合わせて総体的な一工事として入札を行っておりましたが、講堂棟と研修棟を別工事として、分類して11月同時に入札を行う予定です。入札が成立した場合も工事開始は来年の2月を考えております。すでに数度の入札不調、また、延期がございました。これ以上の耐震補強工事の延期は避けたいと考えておりますので、早急に入札を考えております。

次に、中央公民館の使用料の免除についてでございます。

中央公民館を利用されている団体の方々の活動に資するよう、また、その負担を軽減するために、社会教育関係団体と認定された団体に対して、1月31日までの使用料は免除する対応といたしましたので、ご報告をさせていただきます。

木村教育長

事務局からの報告が終わりました。

これより質疑に入ります。ご意見、ご質問ございますか。

浦壁職務代理者

はい、議長

木村教育長

浦壁職務代理者

浦壁職務代理者

なぜ利用料を免除するのかという点と、なぜ免除される期間が3ヶ月なのかという点を詳しく教えてください。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

併せてご質問させていただきますが、免除団体のところで「認定された団体」とあります。現在、活動されている団体かと思いますが、どのくらいの団体があるのか、その団体の中に運動系の団体はあるのかどうか教えてください。

木内教育次長

はい、議長

木村教育長

教育次長

木内教育次長

なぜ免除なのかということですが、各団体が公民館が11月から借りられないということで他の施設を予約していたり解約したり、解約できなかったらどうするのかということに対応するためです。11月から3月まで使えない予定だったので、利用者さんが困惑している状況です。また、このまま次の入札まで閉館するという選択肢もあったのですが、使える限りは使っていただこうと、ただし、いつ工事に入るかわからないので、使えなくなる場合にはお知らせをさせていただき、団体の負担が減るよう免除という形を取らせていただきました。

各団体でございますが、213くらいの団体がおられるのですけれども、それらの団体のうち、スポーツまたは体を動かす団体は講堂を使う団体となっております。

木村教育長

スポーツ団体というのは、どういう概念で捉えたらいいのか、少年野球とかサッカーとかバスケットボールとかバドミントンとかインディアカなどの軽スポーツも含めて、そういう方は登録していないのですよね。ですから、健康体操だとかダンスとか公民館を利用して運動するようなそういう団体、スポーツと言っているのかと思いますが、私が話したことで理解してよろしいですか。

木内教育次長

はい、議長

木村教育長

教育次長

木内教育次長

あくまでも公民館で認定されている団体です。ただし、スポーツ少年団は会議のために登録してございます。

石井委員

はい、議長

木村教育長

石井委員

石井委員

社会教育団体は、改めて申請するという事ではないのですね。すでに認定をしている団体ということで、改めて書類を出すことはないのですね。

木内教育次長

はい、議長

木村教育長

教育次長

木内教育次長

今回の免除の対象といたしましたのは、今年の6月の時点で認定された団体のみということになります。通常1年毎に団体で申請していただいているので、それまでは新たに申請をしていただくことはございません。

石井委員

少なくともその団体は、社会教育団体に入っていると承知しているのですか。

木内教育次長

はい、議長

木村教育長

教育次長

木内教育次長

そのように考えております。

木村教育長

林委員は先ほどご質問されていましたが、よろしいでしょうか。

林委員

意図がよく理解できなかつたので質問させていただいたのですが、今の説明で理解できました。

木村教育長

他にご意見ご質問ございませんか。

ご質問等ないようでございますので、以上で「報告第3号」を終わります。

以上をもちまして、議題については、すべて終了しました。

---

#### 4 次回会議の予定

木村教育長

続きまして次回会議の予定について事務局より説明願います。

七夕こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

七夕こども課長

次回会議の予定ですが、平成28年11月22日（火）14時から役場西庁舎2階第1会議室で予定させていただいております。

併せまして12月の予定ですが、12月21日（水）14時から役場西庁舎2階第1会議室で予定させていただいております。

木村教育長

次回会議は、11月22日（火）14時から、12月は21日（水）14時から実施するということですが、いかがでしょうか。

（全員了承）

木村教育長

それでは、そのようにご予定願います。

---

#### 5 教育長、教育委員の予定

木村教育長

続きまして、教育長、教育委員の行事予定をお願いします。

七夕こども課長  
はい、議長  
木村教育長  
こども課長  
七夕こども課長

(報 告)

---

## 6 その他

木村教育長  
続きましてその他ございませんか。  
七夕こども課長  
はい、議長  
木村教育長  
こども課長  
七夕こども課長

(配付資料の確認)

木内教育次長  
はい、議長  
木村教育長  
教育次長  
木内教育次長

(配付資料の確認)

木村教育長  
ありがとうございました。

---

## 7 閉 会

木村教育長  
それでは、以上をもちまして平成28年度酒々井町教育委員会10月定例会議を終了いたします。(16:00)

---

議事録署名 教育長

委 員

議事録作成職員  
こども課